

平成30年3月 市議会定例会

重点課題への取り組みを加速

—平成30年度予算に関する議案を可決

平塚市議会は、平成30年2月22日から3月23日まで、30日間の会期で3月定例会を開催しました。今定例会では、市長提出議案として、30年度予算、条例の制定や一部改正、29年度補正予算、人事案件など39案件が提出され、審議の結果、全ての議案を原案どおり可決、承認、同意しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

の負担が大きい世帯に対し、安心して子育てができる環境づくりを住宅面から支援するものです。また、若い子育て世代の入居を導くことで、高齢化が進む市営住宅コミュニティの活性化を図ります。

なお、このほかに用途廃止や公営住宅法の一部改正に伴い必要な改正を行っています。

◆人事案件に同意

農業委員会委員の任命と人権擁護委員の推薦について、各氏とも全員異議なく同意しました。

○農委委員(岡崎)

○奥山重子氏(岡崎)

○人権擁護委員

○二見章氏(再任・西八幡二丁目)

○片山友美子氏(再任・南豊田)

○嶋津隆子氏(再任・榎木町)

○鈴木俊一氏(再任・纏)

○目黒孝氏(出縄)

○椎野令子氏(札幌町)

今定例会では、平成30年度の一般会計、特別会計、企業会計の予算を可決しました。

30年度の予算規模は、一般会計が810億円、特別会計が777億3880万円、企業会計が297億4600万円となり、総額では1884億8480万円となりました。これは前年度より153億9680万円、7.6%の減となっています。

◆市営住宅条例を改正

今回の条例改正により、子育て世帯用の市営住宅の運用を開始します。

これは、低所得で住宅に困窮し、子供の養育のため



一般会計では、収入及び事業費の確定による補正のほか、年度末に至って不足が見込まれる経費などの補正予算を可決しました。この結果、一般会計の予算総額は870億517万円となりました。

◆一般会計補正予算の一部を紹介

- ・在宅障がい児者への給付費などの増加に伴う経費……………2億3454万円
- ・障がい者福祉の就労継続支援などの利用者数増加に伴う経費……………3037万円
- ・漁港施設の機能保全を図るための経費……………1300万円
- ・中学校の外壁改修などの大規模な改修工事実施のための経費……………4億3763万円

平成29年度予算を補正 一般会計総額870億517万円に

主な内容

代表質問・総括質問	2~6面
清風クラブ	2・4
数田俊樹 片倉章博 須藤量久 黒部栄三	
公明ひらつか	2・5
鈴木晴男 小笠原千恵美 秋澤雅久	
湘南フォーラム	3・5
内堀祐一 府川正明	
平塚自民クラブ	3・5
白井照人 金子修一	
日本共産党平塚市議会議員団	3・6
渡辺敏光 松本敏子	
無所属	6
柏木 徹 江口友子 府川 勝 端 文昭	
議案審議の結果	8面

平成30年度 当初予算 主な事業を紹介

〈〈常任委員会での審査概要は7面に〉〉

地域経済の活性化

- 担い手総合対策事業(1,295万円)
…新規就農者への支援の拡充など
- 中小企業経営支援事業(15億4,898万円)
…市内中小企業者の円滑な事業承継の支援や融資制度の拡充など

子育て支援

- 民間保育所施設整備支援事業(9億2,552万円)
…民間保育所の施設整備などを支援
- 母子保健事業(1億9,682万円)
…子供を産み育てやすい環境づくりと切れ目のない支援、産後ケア事業の実施など

超高齢社会への対応

- 介護人材育成定着支援事業(140万円)
…介護人材などの確保・定着への取り組みを支援
- 健康増進事業(3億71万円)
…胃がん内視鏡検査、大腸がんの施設検診、口腔がん検診の実施など

安心・安全なまちづくり

- 災害情報伝達事業(1億3,585万円)
…災害発生時の情報伝達手段としての防災ラジオの導入など
- 消防指令センター運営事業(4,987万円)
…多言語コールセンターサービスの導入など

今定例会で提出された30年度予算に関する議案について、総合計画に掲げる四つの重点課題に関連する取り組みの中から、主な事業を紹介します。

「八幡山公園の桜」
《撮影 船盛トシ子さん/浅間町》

